萩ジオパーク
推進協議会だより vol.82

萩ジオパーク推進協議会
｜2022年1月1日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765　0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

新年明けましておめでとうございます。

新年、あけましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルスの影響が続き、さまざまな行動制限がある中、皆様のお力添えのもと、オンラインツアーの開催やYouTube配信、拠点施設の一つである笠山山頂展望台のリニューアルオープンや各地域での巡回展、体験プログラム、普及講座、学校向けプログラムの実施などコロナ禍においても着実に活動を推進することができましたことをお礼申し上げます。
本年秋には、いよいよ日本ジオパーク委員会による再審査があります。審査では、皆さまとともに進めてきたこれまでの取組の成果と今後の取組の方向性が問われます。これを契機に、4年の活動を精査するとともに新たな4年間に向けて、これまで以上に連携し、「大地と人のつながり」を体感できる活動に取り組んでまいりましょう。
本年も当推進協議会の活動に対し、ご理解ご協力、積極的な参加をよろしくお願いいたします。

萩ジオパーク推進協議会

広島から高校の先生たちがやって来た！

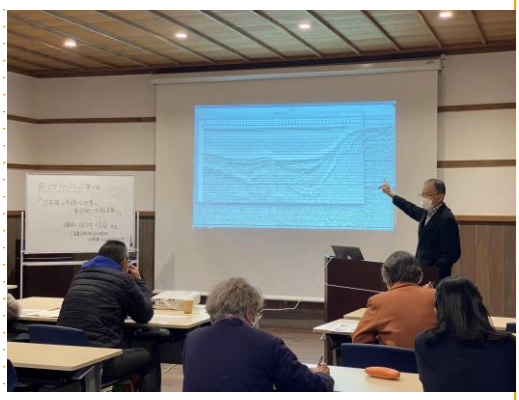
広島県の高校の先生方と広島大学教育学部の学生さんたち（16名）が萩ジオパーク巡検に来られ、専門員の白井がご案内しました。
午前は笠山の山頂で火山噴火実験と火口の見学、椿群生林や海岸では植物や溶岩の観察をしました。午後には須佐ホルンフェルスで堆積岩やマグマの貫入の痕跡、最後は畳ヶ淵で柱状節理の観察をするという、盛りだくさんの一日でした。みなさんとても熱心に観察や質問をされ、昼食の時間を削るほどの大盛り上がりでした。
参加された先生方から度々漏れる「教科書と違う…」という反応がとても印象的で、複雑な要素が絡み合うことで生まれるリアルの景観に感動されているようでした。教科書で理屈を学ぶだけでなく、現地で実際の景色に触れるということの大切さを改めて実感しました。
今回の企画は、今年の9月に行われた地学教育学会のオンラインイベントがきっかけとなったものです。「ぜひ生徒たちを連れて来たい」「広島に来て講演してほしい」といったご相談もいただいており、次々とつながりが広がっていくとても嬉しい機会となりました。

ABUキャンプフィールドスタッフ研修

3月に道の駅阿武町にオープン予定の「ABUキャンプフィールド」のスタッフ向けジオパーク研修会を11/9から全3回で実施しました。キャンプ場や併設されるカフェ、体験プログラム等を運営していくにあたり、地域の暮らしを大地の成り立ちまで掘り下げて考えるジオパークの視点が必要と、ご依頼をいただいて実現したものです。
初回は阿武町を含む萩ジオパークの大地の歴史を３種類の実験でたどり、阿武町ならではの暮らしがどうして生まれたのか、マグマの活動によってつくられた大地の特徴と産業とのつながりを紐解きました。
　２回目は、溶岩台地の上で農業を営む農家さんのお話を聞いたり、耐火煉瓦の材料であるロウ石の採石場跡地を見学したり、人々が大地とどう向き合って来たのかに直に触れました。
　12月15日の最終回は、事前に課題として出題していた、阿武町の特産品の背景にある大地と人のつながりの調査結果を発表していただきました。キウイのような定番から、魚の酒粕漬けや薬用作物などのこれから売り出していきたいものまで様々な題材がありましたが、どれも非常に深く掘り下げて調べていただき、“阿武町ならでは”の理由がはっきりと伝わってきました。「こんな風に商品化したいね」「こういう売り出し方がいいんじゃないか」といったアイデアが自然とあふれてくる充実した時間となりました。
　ABUキャンプフィールドがオープンしたら、スタッフさんにぜひお話を聞いてみてください。きっと面白い話が聞けることと思います。

萩ジオアカデミーを開催しました

12・18「日本海の多様な地質と第四紀地殻変動」

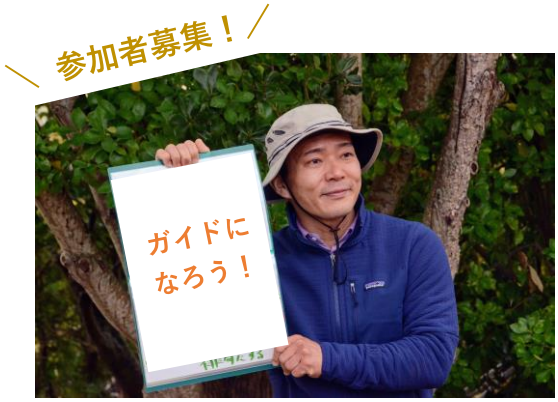


萩ジオアカデミーの第1回「日本海の多様な地質と第四紀地殻変動」を14名の参加により萩・明倫学舎で開催しました。講師として産業技術総合研究所 地質調査総合センターの岡村行信さんをお招きして、過去に起こった地殻の動きが、日本海周辺地形の形成にどのように作用したか等について解説いただき、現在の日本海が形作られたメカニズムを、参加者は時折メモを取りながら熱心に聞いていました。後半は、海底地形の断面図を用いて地質の境界線を読み取る作業を通して地質調査の解析方法を体験しました。
なお、今回用いた海洋地質データは、地質調査総合センターのホームページで公開されていますので、QRコードからご利用ください。

12・19「徳佐盆地と長門峡の秘密」

徳佐盆地と長門峡の謎に迫る萩ジオアカデミー第2回「徳佐盆地と長門峡の秘密」を12名の参加で開催しました。午前は、講師である山口大学教育学部准教授楮原京子さんから出題される質問に皆で答えるコーナー。地形図や立体模型を基に、過去の河川が通っていた場所や古い徳佐盆地がどこまで広がっていたのかをグループで協力して読み取りました。

午後からは、現地でフィールドワーク。講師の方が野外で何に着目しているのかを教わりながら歩き、地形や石、川の流れなどから長門峡が形成された当時の情報を読み取りました。参加者からは「いつもなら見過ごす風景も、見方を知ると面白く感じる」という声が聞かれるなど、大地に目を向ける面白さを実感していただけたと思います。



萩ジオガイド養成講座

萩ジオパーク推進協議会主催のジオガイド養成講座を開催します。講師は「『もう一度会いたい』と思われる人になる」の著者で（一社）をかしや代表理事の菊間彰さんです。大地と人、人と人をつなぐ技術に触れて、実際にガイド体験をして、「感動が伝わる」ガイドさんになってみませんか。

日時：2022年2月19日（土）・20日（日）
場所：萩・明倫学舎（予定）

わっきー教授、クリエーターになる！

4コマ漫画「がんばれ半田くん」の原作者、わっきー教授がnoteで萩ジオパークとMine秋吉台ジオパークについての創作物を公開しています。初めて目にする方もいらっしゃるかもしれませんが、noteとは「クリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォーム」（note公式）です。
今のところ、Mine秋吉台ジオパーク解説、半田くんと学ぶ「萩ジオパーク」、SF笑説「がんばれ！半田くん」の3シリーズ。
https://note.com/yamaguchigeopark
今回、4コマ漫画「がんばれ半田くん」は『働き方改革』のため、お休みです。次号から新シリーズが始まります。それまで、こちらでお楽しみください。

＼ note始めました！ ／

参加者募集！

【 1/22（土）開催 】大地の遊び人養成講座

大地の遊び人養成講座は、野外での遊びを通して大地と 人の“つながり”を実感する力を養う体験型講座です。大人も子どもも関係なく、目の前の大地に胸を借りて時間の限り大いに遊びましょう！
詳しくは、HPをご覧ください。
薪割り、火起こし、ロープワーク等の基本スキルを身に着けるだけでなく、今回は野外でのコーヒー焙煎、パン作り、ブイヤベース作り等にも挑戦します！

【日時】1月22日（土）13：00～17：00
【会場】阿武町奈古 筒尾海岸周辺
【参加費】大人2,500円／小中学生1,500円
【定員】10名※申込〆切：1月14日（金）

前回の様子

1月の予定

● **萩ジオパークパートナー意見交換会**　1月12日（水）13:30～　場所：萩・明倫学舎2階展示映像室　内容：萩ジオパークパートナーの今後の活動について　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

○ **geoとも（萩ジオ友の会）定例会**　1月22日（土）　主催：geoとも　問い合わせ：geoとも　桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）

● **大地の遊び人養成講座＃5「冬の大地と遊ぼう」**　1月22日（土）13:00～17:00　場所：阿武町筒尾　内容：野外での遊びを通して大地と人のつながりを実感する力を養う　参加料：大人 2,500円、小中高生 1,500円　定員：10名（先着順）　申込：電話（0838-21-7765）もしくは申し込みフォーム　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）